

埼玉大学教職大学院 Q & A

お寄せいただいた過去の回答集

【埼玉大学教職大学院入試について】	1
【現職教員受験について】	3
【指導教員について】	4
【埼玉大学教職大学院について】	4
【実習について】.....	7
【免許取得について】	8
【就職先について】	9

【埼玉大学教職大学院入試について】

Q. 1期と2期の違いについて教えていただきたいです。

A. 異なる点は出願や試験の日程のみですが、1期で入学定員に近い合格者数となる場合も考えられます。募集内容や試験時間等は1期、2期ともに同じです。ただし、教員採用試験を受験する場合は、1期の出願～合格発表までの期間と日程が平行することが多いので、両方の日程をよくご確認のうえ進めていただければと思います。参考に埼玉県とさいたま市の選考試験詳細ページを記載します。

《埼玉県の教員採用試験》

[公立学校教職員採用選考試験 - 埼玉県 \(saitama.lg.jp\)](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2210/kyousyokuin-saiyou/shiken.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2210/kyousyokuin-saiyou/shiken.html>

《さいたま市の教員採用試験》

[さいたま市／職員採用（教育委員会） \(saitama.lg.jp\)](https://www.city.saitama.lg.jp/006/001/001/002/index.html)

<https://www.city.saitama.lg.jp/006/001/001/002/index.html>

なお、教員採用試験で合格した場合、各都道府県の教育委員会が教職大学院進学者の採用候補者名簿登載を 2 年間猶予する制度がないか、あるいは採用試験志願時に猶予を希望する旨を記載していなかった場合に、いずれかを選択しなければなりません。猶予制度がある場合は、採用試験合格後、二年間教職大学院で学修することが可能です。

教員採用試験における二年間の猶予制度の有無は、各都道府県の教育委員会に採用候補者名簿登載について確認してください。採用猶予制度があれば各都道府県・政令指定の教員採用募集要項に猶予の条件記載があるはずです。

- Q. 研究計画書はどれほど具体的に作るべきでしょうか。
- A. 出願書類については募集要項をご確認の上、ご自身で判断していただければと思います。
- Q. 他大学(他県)から埼玉大学大学院を受ける際、不利になることはありますか？
- A. 他大学からの受験で不利になることはありません。他大学、他県から受験する方は毎年多くいます。
- Q. 教育学部窓口での過去問の閲覧は、説明会の日でも可能でしょうか。
- A. 教育学部支援室窓口の開室時間であれば、過去問の閲覧は可能です。
(過去問閲覧可能時間:平日 9:00-16:30)
- なお、一般選抜等の筆記記述分の過去問は 3 年分 HP 上にアップしています。ただ、年度によっては受験生がいなかったり、募集をしていなかったりするサブプログラム分はありません。また、口述試験の過去問題はありません。
- Q. 留学生向けの入試はありますか。
- A. 現在、留学生向けの入試は実施しておりません。日本国の教員免許状(1 種もしくは専修)を保有もしくは今年度中に取得予定であれば受験は可能です。詳細は学生募集要項 2 頁をご確認ください。

※試験内容に関する質問について

- Q. 筆記試験で問われる「教職に関する科目」の対策として、こういった勉強をしておくといいでしょうか(中教審の答申に目を通しておくなど)。
- Q. 他大学から貴校に入学するために必要な対策や読んでおいたらい数学教育の本があれば教えてください。
- A. 公平性を保つため、試験に関する質問の回答は控えさせていただきます。
- Q. 今年度の教員採用試験を受験する場合、大学院を受験する期間(第 1 期や第 2 期など)

の指定はありますか。

A. 指定はありません。教員採用試験の試験日との重なりが生じないように、大学院の何期を受験するかご検討ください。

Q. 研究計画書の作成は何を参考にしましたか。

A. 教職大学院 HP 募集要項掲載作成ページの参考資料（※ 《様式4》参考資料「教職大学院入学志願者に求められる研究計画書の作成について（参考）」）をご確認ください。

Q. 面接試験でどのような質問が出るのか閲覧することはできますか。

A. 口述試験の過去問題はありません。

Q. 面接試験担当の先生は、受験生の希望専攻分野の先生ですか。

A. 口述試験は、受験するサブプログラムの教員が行います。

Q. 受験の種類について詳しく知りたいです。

A. 詳細は説明会で説明します。後日アーカイブ動画も教育学部 HP に載せますので、ご視聴ください。

Q. 推薦制度について基準や人数、試験内容等詳しく知りたいです。

A. 学部内推薦の基準等、大学としてお示ししているものではありません。

【現職教員受験について】

Q. 働きながら通えますか。

A. 現在、夜間開講や休日開講は行っておりません。一定の勤務年数がある現職教員等は、派遣制度・大学院休業制度等を利用して身分を保有したまま入学し、短期履修制度の申請で一年間での修了も可能です。

Q. 現職教員受験で授業料を払いながらの受講になる場合、その間の給料は停止になりますか。また要項に記載してあるもの意外にかかる費用はありますか。

A. 現職教員の方の給与については、派遣制度や休業制度等どの制度を利用して入学するかで異なりますので、所属する自治体等にご確認いただければと思います。また、要項に記載している以外の費用については、交通費・教材費等が自己負担となります。（学卒院生、現職院生で職場の保険が適用とならない場合、保険加入費が別途かかります）

Q. 現時点では短期履修制度を検討しています。短期履修制度、長期履修制度等の特例制度

は、途中で選択したり変更したりすることはできるのでしょうか。

- A. 短期履修制度については、年度途中で申請することはできませんが、入学時点で短期履修を申請した方が1年間での修業について困難になった場合、定められた修業年限(2年)に変更することは可能です。授業料は通常通りとなります。また、長期履修制度については在学途中での申請及び履修期間の変更が可能です。
- Q. 短期履修制度の申請を希望しているので、年間スケジュールなど実際の履修の様子など知りたいです。
- A. 履修の様子等につきましては説明会の『カリキュラムの説明』でお話しします。後日アーカイブ動画も教育学部 HP に載せますので、ご視聴ください。

【指導教員について】

- Q. 指導教員への事前訪問は必要ですか。また、オンラインでも可能ですか。
- A. 教職大学院 HP 募集要項掲載作成ページの参考資料(※《様式4》参考資料「教職大学院入学志願者に求められる研究計画書の作成について(参考)」)をご確認ください。所属を希望される指導教員に事前訪問について問い合わせされたいが連絡先が不明の場合は、教育学部係 (ikugakumu@gr.saitama-u.ac.jp) にお問い合わせください。
- Q. 研究室訪問をオンラインで行うことは可能ですか。
- A. 訪問されたい研究室の指導教員に直接ご依頼いただくようお願いします。連絡先が不明の際は教育学部係 (ikugakumu@gr.saitama-u.ac.jp) にお問い合わせください。

【埼玉大学教職大学院について】

- Q. 埼玉大学教職大学院ではどのようなことが学べ、どのような研究ができますか。
- A. 修了生がどのようなことを学び、研究しているかという情報は、教職大学院 HP の課題研究報告書(<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/grad/master/report/>)に掲載されております。ぜひご覧ください。
- Q. 埼玉大学の教育学部から進学する学生がほとんどでしょうか？
- A. 本学教職大学院は他大学の学生も多く在籍しています。新卒の大学院生のうち、3人に1人は他大学の学生です。
- Q. 新卒の大学院生はどのくらいいますか？
- A. 現在、新卒の院生が7割～8割、現職教員等の院生が2割程度在籍しています。

- Q. 大学独自の金銭的な支援などはありますか。
- A. 奨学金については、学生支援課奨学支援担当係の HP に詳細がございます。
[奨学支援 - 埼玉大学学生生活支援室 \(saitama-u.ac.jp\)](https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/)
 (https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/)
 また、大学独自ではありませんが、奨学金の返済免除制度もございます。
[教員になった者に対する奨学金の返還免除制度 \(教員免除\) | JASSO](https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/kyouinmenjo.html)
 (https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/kyouinmenjo.html)
- Q. 学部から進学して 2 年で修了するのと、一度教員になり 1 年で修了するのとではどちらがいいですか？
- A. 学部から進学する場合と異なり、一度教員になり身分を有しながら大学院に進学する場合、所属機関の許可が別途必要になります。また、カリキュラム的には新卒生と現職教員の実地研究の内容は変わります。
- Q. 楽器の個人レッスンの時間はありますか。
- A. 入学後に所属されたい研究室の指導教員に直接問い合わせいただくようお願いします。連絡先が不明の際は教育学部係 (ikugakumu@gr.saitama-u.ac.jp) にお問い合わせください。
- Q. 課題研究では、二分野(教育心理学と技術教育)のハイブリッド研究はできますでしょうか？
- A. 課題研究の内容については、入学後に指導教員と相談して決定することとなります。指導教員を選ぶ際には、埼玉大学研究者総覧 (<https://rdb.eva.saitama-u.ac.jp/search/group-search.html?lang=ja>) をご確認ください。ハイブリッド研究ができるかどうかについては、指導教員選択の際にご確認ください。
- Q. どのプログラムにいたとしても他のプログラムの選択授業を受けることは出来るか？
 (学校構想プログラムに所属していて言語文化サブプログラムの選択授業を受けるなど)
- A. 選択科目は、自サブプログラム以外のサブプログラム科目や「現代的・地域的教育課題の共同探求」、「教育実践総合演習」という科目から選択して履修することができます。時間割が被っていないければ、他のサブプログラムの様々な科目を取り、知見を広げることが可能です。
- Q. 現役の教員の方々と新卒同士の交流や勉強の機会がありますか。また小学校や中高各教科等の他プログラムを学んでいる学生との交流の機会が多いでしょうか？
- A. 1 年次に履修する必修の共通科目など、多くの科目で現職教員や他のサブプログラム

の学生と交流ができます。

Q. 乳幼児教育について学んでいる方はいますか。

A. 幼児教育についての専門職性を高めるためのコースである子ども共育サブプログラム(幼児教育)は複数の在籍生がいます。また、現在すべてのサブプログラム、分野に在籍生がいます。

Q. 大学院生の1日(1週間)のスケジュールを知りたい。

A. 大学院生は1週間のなかで授業やゼミ、非常勤講師など様々な活動を行っています。履修スケジュールについては、カリキュラムの説明でお話しします。

Q. 学校構想サブプログラムと子ども共育サブプログラムの細かなカリキュラムを知りたい。相談先はどこに行けばよいか。

A. 各 SP の教職大学院カリキュラムの特徴につきましては、教育学部係までご相談ください。窓口にお越しの際は、こちら (<http://park.saitama-u.ac.jp/~zengaku/-te/t-data/014.pdf>) の窓口マップをご確認ください。

Q. 2年間で先生として自信を持って教壇にたてると感じられますか？

A. 本学教職大学院の院生は、経験豊富な教員の指導のもと、様々な角度から学びを深めています。これまでに在籍していた方々は、2年間の大学院生活を通してよりいっそう知識やスキルを磨き、修了後に学校教員として充実した日々を送っています。

Q. 埼玉大学教職大学院で学べることや他の教職大学院との違い、学生生活について教えてください。

A. 埼玉大学教職大学院については、教育学研究科の HP (<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/grad/master/>) をご参照ください。
全国の教職大学院については、日本教職大学院協会の HP (<https://www.kyoshoku.jp/>) が参考になります。
学生生活全般については、埼玉大学 HP (<https://www.saitama-u.ac.jp/>) をご参照ください。

Q. 芸術系サブプログラムではどのような事を学べるか詳しく知りたいです。

A. 各 SP の教職大学院カリキュラムの特徴につきましては、教育学部係までご相談ください。

Q. 他のコースの講義を取れるのでしょうか。

A. 時間割が被っていなければ、他のサブプログラムの様々な科目を取り、知見を広げることが可能です。

Q. 院生同士や教員との距離感、学び合いの雰囲気について伺いたいです。

A. 教職大学全体では、院生が集い交流できる専用スペースがあります。所属するサブプログラムによって、院生を取り巻く環境や雰囲気は異なると思われます。

Q. 学部から大学院に上がる際に、部活等の競技スポーツを継続している人がいますか。

A. 教職大学院として実態を把握しておりません。院生個人の判断で部活動を続けることは可能です。

Q. 授業料減免について詳しく知りたい。

A. 授業料減免については学生生活支援室の「奨学支援」サイトをご覧ください。

https://park.saitama-u.ac.jp/~student_support/shougaku/

Q. それぞれの院生の研究テーマについて具体的に伺えますと幸いです。

A. 教職大学院 HP の「課題研究報告書」にて、院生が修了のために提出した課題研究報告論文を公開しております。

<https://www.saitama-u.ac.jp/edu/grad/master/report/>

【実習について】

Q. 1 年次から学校に実習との事ですが、特別支援プログラムの中で、重度重複障害や院内学級へ行くことはできますか。

A. 学校における実習科目である実地研究では、原則学校教育法的一条に定める幼・小・中・高・特支学校、いわゆる一条校とよばれる学校で行っています。-

Q. 実習の頻度、学内や学生の雰囲気について教えてください。

A. 本教職大学院の実習科目として、「実地研究Ⅰ」、「実地研究Ⅱ」があります。学部卒の大学院生は、9月下旬より「実地研究Ⅰ」で主に埼玉県、さいたま市の小・中・高等学校に週2日8週間の計16日実習を行います。「実地研究Ⅱ」では、4月中旬より週2～4日の計24日実習を行います。現職の大学院生については、「実地研究Ⅰ」がフィールドワークとなり、年間を通じて研究会や公開授業などに参加します。現職の「実地研究Ⅱ」は短期履修制度活用者については免除となり、通常年限で修了する方は学校で24日間実習を行います。学卒院生の実地研究の内容や、学内の雰囲気等については、説明会で詳しくお話しします。

Q. 学外（特に小学校）での実践研究や授業づくりに関して、どのような機会・支援があるのでしょうか。

A. 実地研究校での授業づくりに大学の指導教員が関わることがあります。大学院生は、指導教員の薦めを参考に、埼玉大学附属学校をはじめ、県内外の様々な学校の公開授業研究会に参加している方が多いです。

Q. 授業力を高めるための実践的な指導や研修にはどのような特色がありますか？具体的なプログラムや現場との連携について教えてください。

A. 実地研究は、授業も含めた実践的な指導力を向上させるプログラムとなっています。大学で学ぶ様々な理論と学校における実践をつなぐことが、教職大学院での学びの特色となります。

Q. 実地研究では高校にも行くことが可能ですか。それとも小学校、中学校がメインですか。

A. 高校の教員免許を取得していれば高校にも行くことができます。

【免許取得について】

※在学中に新たな免許取得を希望する場合は、まずは教育委員会のホームページ参照の上、不足単位について予め相談を行ってください。教職大学院以外の学部等科目の履修は、教職大学院科目を優先したうえで年間12単位まで履修できます。

Q. 専修免許状は一種免許状とどのような違いがありますか。

専修免許状を取得するメリットはありますか。

A. 専修免許状は1種免許状より上位免許で、区分として一種免許状は大学卒業相当であるのに対し、専修免許状が大学院修了相当となります。

専修免許状を取得すると、専門性の高い教員であるという証明になります。

Q. 大学卒業後に中高教員免許取得予定ですが、中高専修免許に加えて小学校の免許を取得することは可能でしょうか。

A. 本学卒業生以外については、教育実習の履修ができないため、大学院進学後の本学学部科目の履修のみでは新たに小学校の免許は取得できません。

Q. 現時点で、学校構想サブプログラムを希望していますが、中学校数学・中学校英語といった、2個以上の専修免許を取得することは可能ですか。

A. 取得可能免許等につきましては、教育学部係までご相談ください。

【就職先について】

- Q. 教職大学院を修了した方々は、その後どのような場で活躍していますか。
- A. 多くの方が学校教員となり、教職大学院での学びを生かして学校現場で活躍しています。専門職大学院のため、ほとんどの学生が教員になるために学びにやってきます。
- Q. 埼玉県立高校への就職を考えているのですが、埼玉大学大学院へ行くメリットがあればお聞きしたいです。
- A. 埼玉大学大学院では、実地研究の実習校として埼玉県内の高校で実習を行い、雰囲気を感じ取ったり、経験を積んだりすることができます。
- Q. 卒業後の進路にはどのような傾向がありますか？現職教員以外の道（研究職、教育関連企業など）も視野に入れた支援はありますか？
- A. 教職大学院は、専門職としての教職に関する大学院であるため、教員就職率 100%を想定してします。実際には、他大学の博士課程に進学する方を含めて、教職に直ぐには就かない方が数名おられます。